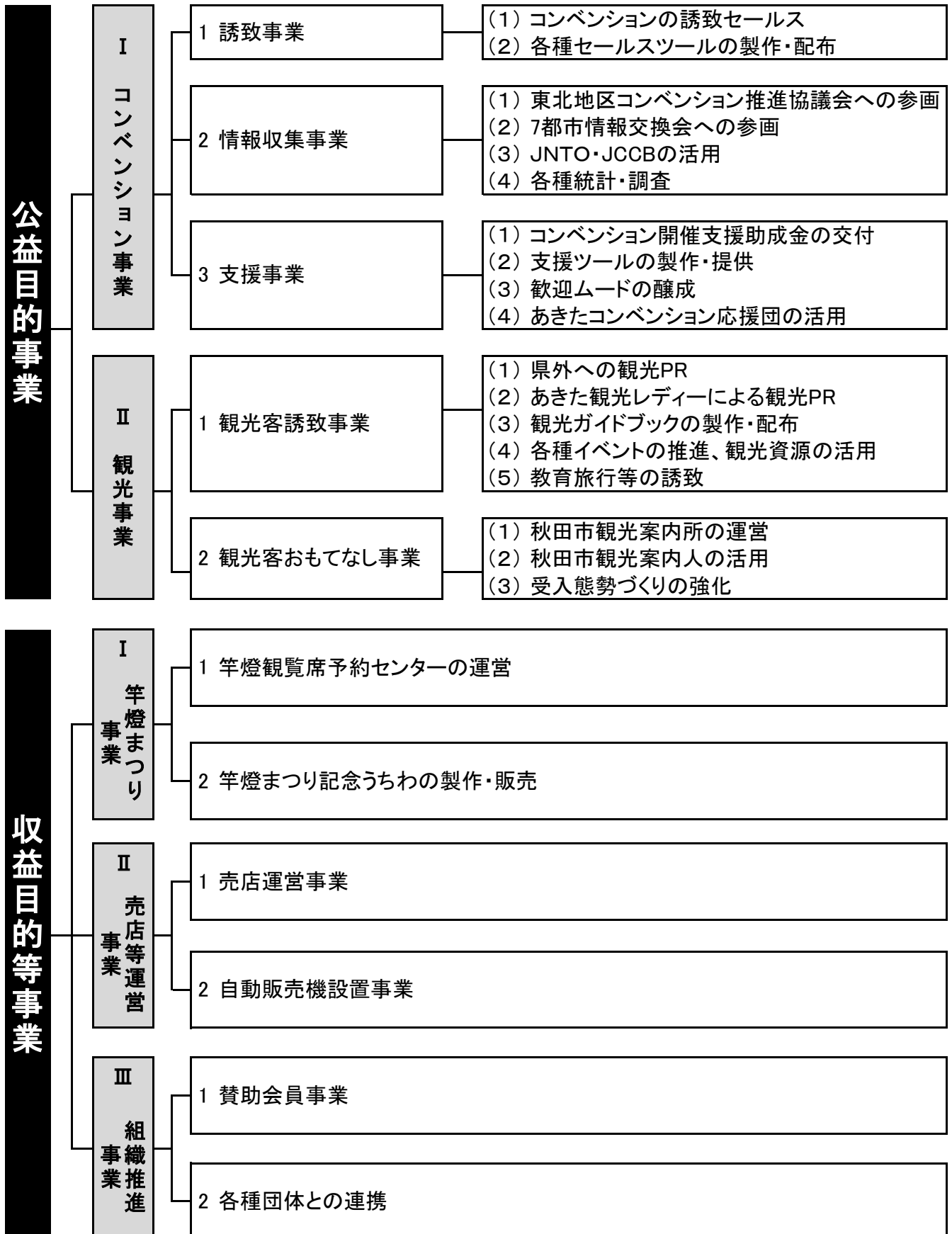


# 平成30年度事業計画

## 事業体系図



## 平成30年度事業計画

事業年度 平成30年4月1日～平成31年3月31日

### 事業計画作成にあたって

平成30年度事業計画を作成するにあたり、コンベンション事業では、大型コンベンションを開催していた県民会館が、縣市連携文化施設の整備によって平成33年度まで使用できなくなることから、開催規模の小さなコンベンションの事務局にも積極的に働きかけ、より幅広い誘致に努めてまいります。また、コンベンション支援制度の見直しや新たな支援策を創出し、セールス用パンフレットやPRチラシなどで広く周知することで、こうした状況の中においても、規模を問わず多くのコンベンションが開催できる環境を整え、経済効果減少の抑制に努めてまいります。

観光事業では、ユネスコ無形文化遺産登録された本県鹿角市の「花輪祭の屋台行事」、仙北市の「角館祭りのやま行事」、そして秋田市の「土崎神明社祭の曳山行事」の3行事を含んだ伝統芸能や秋田のグルメなどを一堂に集めた「これが秋田だ！食と芸能大祭典」を引き続き開催し、県内外からの誘客強化を図るほか、県外プロモーションも積極的に行い、秋田の魅力発信やPRを図ってまいります。また、インバウンドについては、今後も増加する見込みであることから、秋田県や秋田市、秋田県観光連盟など関係団体と連携を深めながら、観光業従事者などを対象とした英会話セミナーの実施や、外国語版観光ガイドの配布、クルーズ船寄港時のおもてなしなども引き続き行ってまいります。

教育旅行等誘致においては、アンケートやモニターツアーでの評価が高かった国際教養大学のイングリッシュヴィレッジを中心に、仙北市のわらび座や男鹿市、大館市と連携した秋田ならではのメニューを積極的にセールスし、首都圏、北海道からの教育旅行の誘致を図ってまいります。

また、組織推進事業では、賛助会員を増やすため会員勧誘の強化期間を設け、協会一丸となって勧誘活動を行うほか、収益事業においても、千秋公園売店の販売品目や営業内容の見直しを図り、収益向上に結びつく事業を展開してまいります。

## 【公益目的事業】

### I コンベンション事業

#### 1 誘致事業

2,251千円

##### (1) コンベンションの誘致セールス

1,372千円

これまでのセールス活動において蓄積された情報をはじめ、情報収集事業において得た新たな情報をもとに、県内外のキーパーソンおよびコンベンション主催者に対し、積極的なセールス活動を実施し、秋田開催を目指す。

また、県民会館建て替えの影響による開催件数の減少を補うため、小規模コンベンション（100～300人程度）にこれまで以上に注力するとともに、新施設完成後を見据えた大規模コンベンションのセールスも引き続き実施する。

- ・地元セールス・・・随時
- ・首都圏セールス・・・年10回程度（目標80件～90件）

#### <参考>

##### ●平成29年度までのセールスで秋田開催が決定した主なコンベンション

平成31年 9月	日本機械学会2019年度年次大会	2,100人
平成31年10月	第33回全国浄化槽技術研究集会	1,000人
平成32年 1月	平成31年度大学病院情報マネジメント部門連絡協議会	600人 など

##### ●現在継続セールス中のコンベンション

コンベンションの分類	件数
医業	11
学術	26
教育	7
組合、業界団体など	19
福祉	3
合計	66

##### (2) 各種セールスツールの製作・配布

879千円

各種助成制度を広く周知し誘致に結びつけるため、セールス用パンフレットのリニューアルや新たなPR用チラシの作成を行うほか、コンベンション施設ガイドも更新する。

また、ノベルティグッズについては、秋田の認知度向上やコンベンション誘致に結びつけられるよう素材やデザインなどを検討する。

- ・セールス用パンフレット・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,000部製作
- ・PR用チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,000部製作
- ・コンベンション施設ガイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・100部製作
- ・ノベルティグッズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2種類

**(1) 東北地区コンベンション推進協議会への参画****363千円**

新潟県の3市を含む、東北地区のコンベンション推進団体により結成される協議会へ参画し、他都市の誘致活動状況や東北規模のコンベンション情報を収集する。

また、同協議会会員都市が一丸となってコンベンションを誘致することを目的として開催する「東北地区MICE誘致懇談会」にも参画し、積極的なセールス活動を行う。

- ・定例総会 : 平成30年 8月 (仙台市)
- ・実務職員研修会 : 平成30年10月 (横手市)
- ・MICE誘致懇談会 : 平成30年 9月 (東京都)

※会員都市 青森県：青森市、弘前市、八戸市  
(17団体) 岩手県：盛岡市  
山形県：山形市、庄内地区、米沢市  
宮城県：仙台市、気仙沼市  
福島県：郡山市、福島市、会津若松市  
新潟県：新潟市、長岡市、上越市  
秋田県：秋田市、横手市

**(2) 7都市情報交換会への参画****795千円**

全国の地区ブロックから競合しない都市が集まる7都市情報交換会に参画し、各都市が持つ有力情報を交換するとともに、各都市において開催済あるいは開催予定のコンベンション主催者を招待した「7都市情報懇談会」を開催して、お互いに紹介し合うことで、効率的な誘致活動に役立てる。

- ・7都市情報懇談会：平成31年1月24日 東京都
- ・7都市担当者会議：年5回（7月、10月、12月、1月、3月）

※加盟都市（旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島）

※事務局を持ち回りで運営しており、平成30年度は秋田市が当番となる。

J N T O (日本政府観光局)

海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議の誘致・支援及びその他情報提供している。

J C C B (日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

J N T O が発行するメールマガジンや海外向けガイドブックへ情報提供を行い、海外における観光宣伝および国際会議の誘致促進を図る。

また、J C C B に参画し、年2回開催されるコンベンションビューロー部会やコンベンション開催意向調査データを活用し、国際・国内コンベンションの誘致促進につながる有益な情報収集を図る。

- ・第1回コンベンションビューロー部会 : 平成30年 7月 (鹿児島市)
- ・第2回コンベンションビューロー部会 : 平成31年 時期、会場未定
- ・コンベンション開催意向調査データ : 約4,400件の主催者情報

(4) 各種統計・調査

秋田市内で開催される予定のコンベンション情報を調査し、受け入れ態勢の整備に役立つほか、コンベンションカレンダーやホームページにより広く情報提供する。

また、コンベンション開催の成果を可視化するため、経済波及効果の測定を専門機関へ委託する。

・コンベンション開催予定調査

大会規模	平成30年度	平成29年度
国際大会	2	3
全国大会	40	43
東北大会	42	66
合計	84	112

・経済波及効果

コンベンション主催者および参加者に対しアンケート調査を実施する。得られた情報を基にした経済波及効果の測定は(一財)秋田経済研究所へ委託する。

<参考>

平成29年度コンベンション開催による経済波及効果(速報値)

約26億円

県外参加者一人あたりの経済効果

- ・直接的経済効果 68,967円
- ・間接的経済効果 44,943円
- ・経済効果 113,910円

### 3 支援事業

15,910千円

#### (1) コンベンション開催支援助成金交付事業

11,000千円

秋田市で開催されるコンベンション主催者に対し、開催費用の一部を助成し、コンベンションが円滑に開催できる環境を整えることで、コンベンション開催件数の増加に結びつける。

- ・主な交付条件：東北規模以上のコンベンションで県外参加者が100名以上
- ・助成金額：県外参加者1名につき1,000円  
※2年以上前の申請で最大300,000円を加算する。

#### (2) 支援ツールの製作・提供

1,698千円

コンベンション主催者にとって、使いやすくニーズに沿った秋田らしいコンベンションバックを製作・販売する。

また、コンベンション参加者がアフターコンベンションに活用できる観光ガイドブック等を無料提供し、利便性向上と地元や周辺地域への経済波及効果促進を図る。

- ・コンベンションバック製作 10,000部
- ・観光ガイドブック配布予定数 100大会

#### (3) 歓迎ムードの醸成

2,819千円

コンベンション主催者が秋田らしいアトラクションで参加者をお出迎えできるよう、伝統芸能出演料の助成やあきた観光レディーの無料派遣などを実施するほか、コンベンション開催を歓迎するポスターを製作し、賛助会員等の飲食店やお土産店、宿泊施設などに配付して一体感のある歓迎ムードの醸成を図る。

また、県民会館建て替えの影響による開催数の減少を抑えるため、郊外で開催するコンベンションに対し、シャトルバス運行等への新たな助成制度を実施する。

- ・支援対象：国際規模50名以上、全国規模250名以上、東北大会400名以上  
全国規模1,000名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- ・支援内容：
  - 歓迎ポスター・・・850枚製作し飲食店等へ配布
  - 伝統芸能出演料助成金・・・出演料の1/2かつ上限50,000円を助成
  - あきた観光レディー・・・2名まで無料派遣
  - 歓迎タペストリー 【新規】 広小路や駅前商店街の設置可能箇所へ掲載
  - シャトルバス等助成 【新規】 バス賃借料の1/2かつ上限200,000円

#### **(4)あきたコンベンション応援団の活用**

**393千円**

コンベンションの円滑な開催を支援するため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、秋田駅や秋田空港でのお出迎え案内や開催当日の会場案内などのサポートを行う。

- ・ 応援団登録者：30名（平成30年2月末現在）
- ・ 派遣対象：国際規模50名以上、全国規模250名以上、東北規模400名以上  
全国規模1,000名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- ・ 派遣人数：延べ10名まで無料で派遣

## II 観光事業

### 1 観光客誘致事業

37,136千円

#### (1) 県外への観光PR

7,692千円

首都圏を始め、北海道や近隣県などで実施されるイベントへ参加し、市や県などと連携した観光PRを実施するほか、誘客ポスターの作成・掲出によって秋田への誘客を図る。

また、情報収集源の核となるホームページの充実やSNSの活用などにより、広く情報発信を行う。

##### ・ 県外での観光PR

###### 東北絆まつり

期日：平成30年6月2日（土）～3日（日）

場所：盛岡市内

###### はこだてグルメサーカス

期日：平成30年9月

場所：函館市（大門グリーンプラザ、朝市ほか）

###### ふるさと祭り東京

期日：平成31年1月

場所：東京ドーム

###### 北前船寄港地フォーラム

坂井市

期日：7月12日（木）～14日（土）

尾道市

期日：11月16日（金）～17日（土）

##### ・ 誘客ポスターによるPR（秋田美人ポスター）

製作部数 約3,000枚（予定）

掲出場所 首都圏JR主要駅、市内観光施設、県内道の駅ほか

##### ・ ホームページの運用

アキタッチ+（プラス）と協会ホームページの適切な更新や、SNSの活用などにより、国内外に対して様々な観光情報の提供を行う。

#### (2) あきた観光レディーによる観光PR

3,984千円

一般公募により選抜された6名へあきた観光レディーを委嘱し、東北絆まつりを始め、県内外で開催される各種観光イベントなどで秋田の観光PRを実施する。

##### < 主な活動内容 >

5月25日（金）～27日（日）これが秋田だ！食と芸能大祭典

6月2日（土）～3日（日）東北絆まつり（盛岡市）

6月9日（土） 薨刈り撮影会モデル

8月3日（金）～6日（月） 秋田竿燈まつり

※このほか、はこだてグルメサーカスやふるさと祭り東京など県外で開催される観光イベントやチャーター便やクルーズ船のお出迎えなどに多数派遣予定



### **(3) 観光ガイドブックの製作・配布**

**5,646千円**

秋田市の観光と飲食に関する情報を掲載したガイドブックを製作し、各種施設やコンベンション参加者に配布するとともに、県内外での観光PRでも活用する。

<製作部数>

観光冊子版（日本語）	40,000部
飲食冊子版（日本語）	34,000部（9,000部増）
ダイジェスト版（日本語）	68,000部（3,000部増）
外国語版【英語・韓国語・中国語（繁体・簡体）】	22,500部（5,000部増）

### **(4) 各種イベントの推進、観光資源の活用**

**8,214千円**

「桜の名所100選」や「日本の歴史公園100選」などに選ばれている千秋公園を会場として、桜まつりやつつじまつりを開催するほか、「これが秋田だ！食と芸能大祭典」を開催し、県内外からの誘客促進を図る。

- ・これが秋田だ！食と芸能大祭典の開催  
期日：平成30年5月25日（金）～27日（日）  
会場：アゴラ広場、エリアなかいち、広小路、仲小路など
- ・千秋公園桜・つつじまつり  
期間：桜まつり・・・平成30年4月中旬から下旬（予定）  
つつじまつり・・・平成30年5月中旬から下旬（予定）
- ・あきた蔭の栽培展示  
期間：平成30年5月～8月（生育状況により変動）
- ・横手かまくらの展示  
期間：平成31年2月頃（なかいちウインターパークの開催期間）

### **(5) 教育旅行等の誘致**

**11,600千円**

教育旅行等を誘致するため、県内市町村等との連携によって滞在型・体験型メニューの充実とを図るとともに、教育関係者や旅行代理店へのセールスを強化する。

- ・体験型観光メニューの確立  
魅力ある体験型観光メニューを確立し、修学旅行や観光客誘致に活用する。
- ・モニターツアーの実施  
旅行代理店や教育関係者等に体験型観光のモニターツアーを実施し、体験型観光のPRを図る。（年1回程度） また適宜視察等に対応していく。
- ・旅行代理店・教育関係者等セールス  
首都圏、北海道、関西等 年10回程度
- ・訪日外国人教育旅行セールス（台湾からの誘客、国内での商談会） 年2回程度
- ・ホームページ等の運用  
体験型観光のホームページの構築や周知用パンフレットの充実を図る。
- ・ワンストップサービスの確立  
教育旅行コーディネーター配置により、専門性のあるサービス機能を確立する。

## 2 観光客おもてなし事業

15,999千円

### (1) 秋田市観光案内所の運営

14,182千円

秋田市内や県内各地の観光情報をリアルタイムで収集し、利用者のニーズに沿った情報を提供するとともに、東北地区の観光案内所と連携し、広域的な観光案内を実施する。

また、市内観光の選択肢を増やすため、レンタサイクルの貸出を実施する。

- ・職員数：5名（秋田空港案内所へ週3日職員1名を派遣）
- ・開所時間：9時～19時（11月～3月は18時まで）
- ・レンタサイクル：11台所有

### (2) 秋田市観光案内人の活用

1,431千円

秋田市内の名所や旧跡、歴史や郷土芸能等を案内するボランティア「秋田市観光案内人」を育成し、まちあるき観光やクルーズ船寄港時の観光案内に活用する。

- ・秋田市観光案内人の育成  
登録者：35名（平成29年12月末現在）
- ・まちあるき観光案内所  
4月中旬から12月中旬までの土日祝日や竿燈まつり期間、大型コンベンション開催時などに中心市街地の「エリアなかいち」に設置する。

### (3) 受入態勢づくりの強化

386千円

観光客を温かく迎え、また来たいと思ってもらえるような態勢をつくるため、観光業の従事者等を対象としたおもてなしの研修を行い、インバウンド対応も含めた受入態勢の強化を図る。

また、竿燈まつり期間中の外国語対応ブースの設置や、クルーズ船・チャーター便などの歓迎セレモニーへの観光レディー派遣、外国語版ガイドブックの配布など、増加するインバウンド向けの対応も充実する。

- ・おもてなし研修の開催  
内容：おもてなしの研修（9月開催予定）  
英会話セミナー（11月、1月の2回開催予定）  
対象者：宿泊業、飲食業などの観光事業の従事者
- ・その他インバウンドへの対応
  - ・竿燈まつり期間中の外国語対応ブースの設置
  - ・チャーター便、クルーズ船来航時のあきた観光レディーによるお出迎え
  - ・外国語版観光ガイドブックの製作、配付（英語、韓国語、中国繁体字・簡体字）
  - ・外国語版ホームページの開設（英語、韓国語、中国繁体字・簡体字、タイ語）

## 【収益目的等事業】

### I 竿燈まつり事業

<b>1 竿燈観覧席予約センターの運営</b>	<b>2,011千円</b>
-------------------------	----------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

委託期間：4月 2日（月）から9月30日（日）

団体予約開始：4月10日（火）10：00から

個人販売開始：5月 1日（火）10：00から

<b>2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売</b>	<b>517千円</b>
---------------------------	--------------

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

製作本数：20,000本

販売価格：1本150円

### II 売店等運営事業

<b>1 売店運営事業</b>	<b>7,367千円</b>
-----------------	----------------

・千秋公園売店運営

秋田市を代表する観光地である千秋公園に所在する売店として、「城趾公園に合った品揃え」「収益に結びつく運営」の2つに重点を置いて改善を図る

営業期間：4月中旬から11月中旬

主な改善内容：内装や商品レイアウトの改善

酒類販売免許取得によるアルコール類の販売

お土産やお城グッズの充実

季節にあった商品の販売

営業時間の見直し など

・県立中央公園スポーツゾーン売店運営

営業日：5月から9月のイベント開催時のみ

※経営を地元の賛助会員へ委託予定

<b>2 自動販売機設置事業</b>	<b>1,537千円</b>
--------------------	----------------

設置箇所：千秋公園、八橋運動公園、スポーツパークかわべ、へそ公園、秋田県立中央公園、ふるさと温泉ユアシス、高尾山（計36台）

### Ⅲ 組織推進事業

#### 1 賛助会員事業

680千円

- ・ 賛助会員交流会の開催

賛助会員が一同に会する場を提供し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

開催時期：平成31年3月

会 場：未定

- ・ 賛助会員勧誘の強化

春（4～6月）と秋（10～11月）に賛助会員勧誘強化月間を設け、協会一丸となって賛助会員勧誘を強化する。

#### 2 各種団体との連携

606千円

県や市、各種団体との連携会議等に積極的に参画し、情報交換や人的交流を図ることで、賛助会員へ提供する最新情報の収集や、円滑な事業実施に結びつける。

## 平成30年度収支予算（案）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

## 予算編成にあたって

財団法人格取得以来、基本財産を国債にて運用し、その運用益を公益事業に充ててまいりましたが、近年のマイナス金利政策の影響により、国債の利率が激減したことから、運用益の減収が響き、当期収支差額は昨年と同程度の赤字予算の編成を余儀なくされました。

このような状況の中、収入増加策といたしまして、平成29年度に引き続き、賛助会員勧誘強化月間を設け、協会一丸となって集中的に勧誘活動を実施してまいります。また、売店事業においては、抜本的な経営改善に取り組み、酒類販売の資格取得や販売商品の見直し等により、収益性を高めてまいります。

次に、支出面においては、組織体制の強化により人件費が前年よりも増加したものの、事業内容や受託事業の見直しにより、昨年に引き続き経費の節減に鋭意努めてまいります。

今後は、中・長期の財政計画を立て、健全な法人運営に努めてまいります。